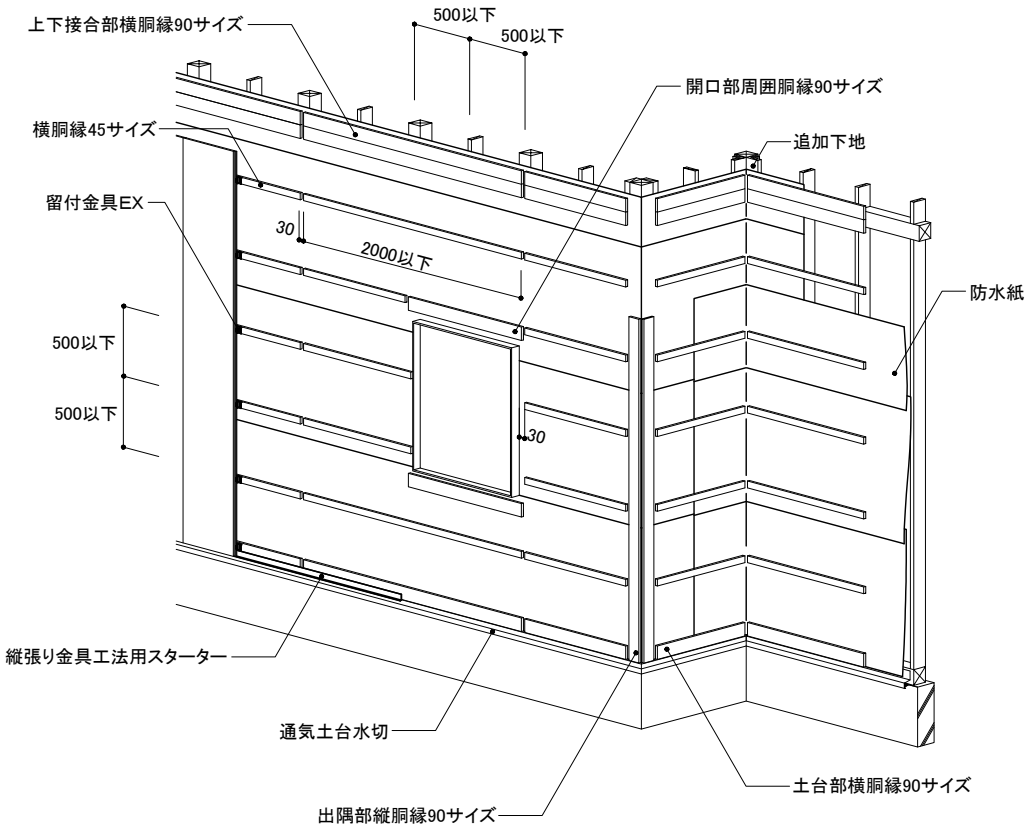
2－2 各部の納まり詳細図

木造軸組下地　縦張り　金具施工

1）基本構成図・下地組図　1．5尺×10尺

●通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
●入隅部や出隅部などで胴縁が躯体に留め付けられない場合は追加下地を設け、必ず下地に留め付けるようにします。
●下地組みは図のように木胴縁を使用し、スギ材は厚み18㎜以上、ベイツガ材は厚み15㎜以上の乾燥材を使用します。ただし、耐力面材がない場合は、厚み18㎜以上の乾燥材を使用します。
●木胴縁の幅は45㎜以上を標準サイズとし、土台部、上下接合部、出隅部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90㎜以上を使用します。
●木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3．8㎜×50㎜以上のビスを使用して500㎜以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸（段差）が3㎜以下となるように調整して施工します。
●下地組みは、必ず通気ができるように2000㎜以下の間隔で30㎜程度の隙間を設けます。
●横胴縁と開口部まわりの胴縁は30㎜程度の隙間を設け、通気する構造とします。
●積雪地域では、積雪の高さまで補強胴縁を取り付けます。（P35参照）

※モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口が見える部分については専用補修液を塗布し、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。